

情報連絡員報告総括表(令和8年9月期)

富山県中小企業団体中央会

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備稼働率	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	醬油・味噌・味増業	→	→	↗	→	↘	→	→	→	→	・原材料や包材・輸送コストの上昇を受けて各社が定期的に値上げを行っているため、前年同月比の売上高は増加しているものの、原材料や副資材等の価格改定は続いており、収益を圧迫している。今年秋から来年春にかけて各社で価格改定を予定しており、売上高の維持を図るが、買い控えによる購入数量の減少が懸念される。一方で海外輸出を行っている事業者の業績が堅調であることから、今後の収益改善の切り札として、海外市場開拓が注目されている。
	パン製造業	↘	→	→	→	↘	↘	→	→	↘	・原材料の値上げが止まらない。 ・価格転嫁をどのタイミングですればいいのかわからない。 ・企業の活動が低下している。 ・残業食減少。
	処理牛乳・乳飲料製造業	↘	↘	↗	→	→	→	↘	→	↘	・特になし。
繊維工業	ニット製造業	→	→	→	→	↘	→	→	↗	→	・アパレル関連は相変わらず景況はよくない。 ・先行きは不透明。 ・物価上昇から経費が増加している。
	絹人織織物業	↘	↗	→	↘	↘	↘	→	→	↘	・状況は前月と変わらず。 ・円安の進行により経費が増大し収益が圧迫されている。 ・日銀による公定歩合の引き上げも、アメリカのFRBの金利引き上げで、日本とアメリカの金利差も変わらず、円安の是正にならない。為替の動向も鑑み、価格の訂正を得意先をお願いしている。商品の値上げについてはおおむね了解されているが、商品の売上数量については不安がある。
	綿・スフ織物業	↘	→	→	→	↘	↘	↘	→	→	・エネルギーコストの高騰が止まらず、それらを原材料とする糊材等を含めたあらゆる経費が上昇している。 ・最低賃金の上昇もあり、経営状況は悪化している。

木 材 ・ 木 製 品	一 般 製 材 業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・8月の新設住宅着工戸数については、全国6.1%増、県10.5%増でそれぞれ上昇した。昨年の建築基準法改正の反動による需要減から、4月以降は反動増が8月まで5か月間継続しているが、一昨年度（令和6年度）の水準には届いておらず、木材関係事業者、住宅事業者にとっては依然として厳しい事業環境が続いている。 ・プレカット工場も前年の住宅建設が停滞した反動やナフサショックで止まっていた物件が動き始め稼働率は回復しつつあるが、収益は人材不足による生産制約や価格転嫁が難しいこと、資材費・電気代・人件費・運賃などの上昇で厳しい状況にある。 ・ロシア材取扱木材関連事業者は、円安に加えロシア材産地の値上がりや国内新設住宅着工数の水準が低いことから需要が低迷しており、価格転嫁できない環境にある。 ・県内のスギ素材生産量は、長雨の影響も少なく一定の生産量が確保されるが、県内価格は低迷している。
	そ の 他 の 木 製 製 品 製 造 業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・特になし。
業 種		項 目	売 上 高	在 庫 数 量	販 売 価 格	取 引 条 件	収 益 状 況	資 金 繰 り	設 備 操 業 度	雇 用 人 員	業 界 の 景 況	組 合 及 び 組 合 員 の 業 況 等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
印	刷 印 刷 業	→	→	↗	→	→	→	→	→	↘	↘	・富山市の印刷物発注業務において、これまでの指名競争入札から一般競争入札への移行が検討されている。公平性、透明性及び競争性確保の趣旨は理解できるが、最低価格にのみ重視することは、一部のアウトローや県外通販への流出が起ころ、契約履行能力、品質、技術力、設備、なにより地域への貢献を無視するもので、結果地域の納税者への不利益に繋がることを再認識してもらいたい。
化 学 ・ ゴ ム	医 薬 品 製 造 業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・特になし。
窯 業 ・ 土 石 製 品	生コンクリート 製 造 業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・令和8年9月の県全体の出荷数量は、45,704㎡で、前年同月比約83%と前年実績を下回った。 ・地区別では、新川地区が前年同月比76.0%、富山地区が同97.6%、高岡地区が同81.4%、砺波地区が同71.9%と全地区が前年実績を下回った。
	コンクリート製品 製 造 業	↘	↘	↗	→	↘	→	↘	↘	↘	↘	・特になし。
	骨材・石工品等 製 造 業	↗	→	↗	→	→	→	→	→	→	→	・骨材価格の値上げについて、令和9年度契約更新の時期には改めて説明とお願いをすることになっているが、事業経営に直結することでもあり、関係業界及び各得意先に対し骨材価格値上げについて説明とお願いを行った。骨材需要については堅調な状況が続いている。

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
鉄 鋼 ・ 金 属	銑 鉄 鋳 物 業 製 造	→	→	→	→	→	→	→	↓	→	・人材の確保が深刻化。 ・価格転嫁が追い付かない。 ・資材やエネルギー高騰の不安が続く。
	銅 ・ 同 合 金 鋳 物 製 造 業	→	→	→	↓	↓	→	→	→	↓	・長期に渡る地金価格高止まりが経営を圧迫している。
	アルミニウム 製 品 製 造 業	→	→	↑	→	→	↓	↓	↓	↓	・特になし。
	建 築 用 金 属 製 品 製 造 業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・特に大きな変化なく、令和8年度上半期は全体として安定して推移している。 ・日銀の短観では、製造業のDIが上昇しており景況感が改善方向に動いているとあり、富山県でも大手・中小ともに製造業は総じて好調である様子。(ただし、食料品や建設などの原材料、部資材の高騰により経営が悪化している所もあるらしい。) ・人材の不足感は続いている。 ・10月からは最低賃金が引き上げられること、電力料金が上がること、物価がさらに上がること、金利上昇など、社会的変化が続くので、その影響がどう出るか注意して見ていく必要がある。
	めっき加工業	↑	→	↑	↑	↑	→	↑	↓	→	・販売単価の上昇により売上は増加傾向。合わせて収益状況も改善している。 ・若年層の退職があり、人員不足が生じている。

一 般 機 器	金 属 工 作 機 械 製 造 業	↗	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・○受注状況……対前年同月比122.87% ・受注状況は、今年度毎月対前年同月比は増加している。精密機械製造業は、半導体関連を中心とした設備需要が引き続き堅調に推移し、景況は緩やかな持ち直しが見られた。しかしながら原材料・エネルギー価格や人件費の高止まり、人手不足などが収益面の負担となっている。製造業も改善傾向にあるものの、精密機械製造業では原材料価格の高騰が課題となっている。
	金 属 加 工 機 械 製 造 業	↗	→	→	→	↗	↗	↗	↘	↗	↗	・特になし。
	鋳 鍛 造 金 型 ・ プ レ ス 金 型 製 造 業 製 造 業	↘	↘	→	→	↘	→	↘	→	→	→	・車関連の金型企業は相変わらずメーカーへの新車製造モデルチェンジも無く低調である。医療関連の金型は順調に推移している傾向。他では、アルミ関連、プレス型も苦戦している状況。部品加工の方は、ここに来て型番問わず少しずつ動いている様な現状。
電 気 機 器	電 子 部 品 ・ デ バ イ ス ・ 電 子 回 路 製 造 業	↗	↗	↗	→	↗	→	↗	↗	↗	↗	・半導体製造装置向け部品の受注は引き続き好調が続いている。 ・自動車向け部品は計画通りの推移だがハイブリッド車向けに受注増加の傾向がある。 ・民生向け部品にも一部受注増加が見られる。 ・タングステンの価格高騰が継続している。
輸 送 機 器	自 動 車 部 分 品 ・ 附 属 品 製 造 業	↗	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・特になし。
その他の製造業	漆 器 製 造 業	↘	→	→	→	↘	→	→	→	↘	↘	・特になし。

業種		項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備稼働率	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
卸売業		セメント卸売業	→	→	→	→	→	→		→	↓	・9月は前月同様天候に恵まれ、ダム関連工事・災関連法面工事等官需関連工事が本格的に稼働している。一方、袋セメントの取扱数量は前年を下回った。主な要因として、利賀ダム工事の一部で袋セメントからバラセメントへ変更があり、袋セメントの使用量が減少したことが挙げられる。今後もバラへの変更が見込まれており、袋セメント取扱数量の下振れ要因となる可能性がある。一方、その他の工事は順調に受注がすすんでおり、8月の氷見市近隣の大雨災害に伴う復旧工事も、来月以降の取扱数量の増加が期待される。ただし人員不足要因で既存工事を優先しており、受注への対応は手一杯の状況。 ・銅、アルミ、亜鉛、鉄、その他原材料のすべてが高騰、燃料費、副資材費、そして人件費と原価にかかるすべてが上昇している中、価格転嫁しても高岡銅器業界が製造するものは必需品ではないため需要が減るだけ。同じ用途であれば、他産地の異素材の商品にスイッチしてしまう。現状、需要は劇的に減っており、一つは高岡銅器である必然性のある商品の開発、もう一つは高騰した価格でも価値を認めて購入してくれる市場と販路を模索している。 ・9月は「クラフト市場街」や「ミラレ金屋町」など、伝統産業に関わるイベントが高岡市内で開催され、大いに賑わいを見せた。こうした催しは、高岡銅器の製品やものづくりの現場に触れ、その魅力を知っていただく機会となっている。産業観光を通じた認知度の向上が、製品
		非鉄金属製品卸売業	→	→	↑	↓	↓	↓		→	↓	
小売業		鮮魚小売業	↓	→	↓	→	↓	→		→	↓	・売り上げが伸びず全体としては、依然として景気が悪く、悪化傾向である。
		食肉小売業	→	↑	→	→	↓	→		→	↓	・シルバーウィークで売上の増加があったもののシルバーウィーク後の売上がかなり減少した。週末になると各地でイベントがおこなわれているためそちらに客数がとられている。
		野菜・果実小売業	↓	→	→	→	↓	→		→	→	・9月の卸売市場は、入荷数量が105%、kg単価が96%で売上が101%となった。 ・9月の組合員の取扱高は、昨年対比88%であった。4～9月累計で昨年対比95%。
		家庭用電気機器小売業	→	→	↑	→	→	→		→	↓	・特になし。
		自動車小売業	→	→	→	→	→	→		→	→	・特になし。
		ガソリンステーション	↓	↓	↑	↓	↓	↓		↓	↓	・組合員(SS)をめぐる状況は、カーボンニュートラルの進展に伴うガソリン等の需要減が見込まれることや大手流通業者等による廉売激化、人材不足やドライバーの時間外規制など、基本的に経営環境が厳しい。6月中旬に米国とイラン間で戦闘終結に向けた覚書署名があり、いったん原油価格の下落が見られたが、その後、両国の衝突が再燃し、原油価格は反転上昇した。しばらくは小康状態となったものの、足元では原油価格が再上昇しており、また戦局についても終戦は見通せず、先行きの不透明感が依然拭えない。なお国による緊急的激変緩和措置(いわゆるガソリン補助金)による補助金額は7月にはLあたり数円程度までに縮小したものの、足元の原油価格再上昇により、直近では50円前後に膨らんでいる。他方、国内では7月末に熊本地震が発生したほか、8月以降、本県も含め全国各地において相次いで大雨被害があり、「最後の砦」としてのSSの重要性が再認識される機会となっている。 ・県内では、もともと需要の回復感が弱く、また夏場でありながら行楽需要も低調だったとみえて、ガソリン販売量は減少が続いている。 ・販売価格は、イラン情勢の緊迫化を受けて3月中旬に急騰したものの、国による緊急的激変緩和措置(いわゆる

		スポーツ用品 小 売 業	→	↗	↗	→	↘	→		→	↘	・特になし。
		ショッピング セ ン タ ー	→	→	↗	↘	→	→		→	↘	・更なる物価高により消費者の節約志向が更に強まっており、中小規模のリアル店舗にとっては厳しい状況が続いている。
		項目	売 上 高	在 庫 数 量	販 売 価 格	取 引 条 件	収 益 状 況	資 金 繰 り	設 備 操 業 度	雇 用 人 員	業 界 の 景 況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現 状等、企業経営・業界での問題点)
	業種											
商 店 街	商 店 街	→	→	→	→	→	→	→		→	→	・11年振りの大型連休となったシルバーウィーク期間中は、隣接するデパートのイベント効果もあり、来街者が多かった。家族連れや若者そしてキャリーバックを携えた観光客で、飲食店や最寄り品店は賑わっていた。
	商 店 街	→	→	↗	→	→	↘			↘	→	・飲食業は上向きであるが物販に関しては減少がみられる。その為アーケードの照明の点灯時間を長くする希望が多い。
サ ー ビ ス 業	情報サービス業	→			→	→	→	→		→	→	・特になし。
	クリーニング業	↘				→	→	↘	→	→	→	・特になし。
	飲 食 業	→			↗	→	→	→		→	→	・シルバーウィーク中は忙しかったが、その後客足が減る。 ・昨年同月売上げ比3%増。
	建 築 設 計 業	→				→	→	→	→	→	→	・特になし。
	自 動 車 整 備 業	→					→	→	→	→	→	・9月の自動車新車新規登録・届出台数(登録車と軽自動車の合計)は、多少の増減はあるものの、概ね前年並みである。 ・油脂類の「供給の目詰まり」は改善傾向にあるが、まだまだ平常通りでは無い。中東情勢等の影響による価格高騰は続いており、顧客への価格転嫁が困難な状況にある。

建設業	鉄骨・鉄筋工事	→	→	→	→	→	→	↗	・仕事は出てくると言われており、大手ファブで1年以上受注を持っている所も多々あるが、未だ中小ファブでは少ない状態が続いている。同業他社の製作協力や金物、付帯工事等で工場稼働率を維持して安値受注を回避する努力をしている。
	一般土木建築工事	→	→	→	→	→	→	→	・資材価格の状況については、土木系資材は高止まり傾向にあるが、建築資材は上昇傾向が続いている。春先問題になったナフサ由来の資材等の不足は、概ね解消されている。
	管工事業	→	→	→	→	→	↘	→	・給水主任技術者受験準備講習会を9月3日・4日両日開催し24名が受講。 ・下水道排水設備工事責任者技術者試験受験準備講習会を9月17日21名受講にて開催。 ・全国管工事業協同組合連合会北信越ブロック会議が9月28日石川県にて開催され、富山県連から19名が出席し各県連から提出の議案について討議を行った。来年度は富山開催。
	電気工事業	↗	↗	→	→	→	→	→	・公共事業・設備投資・住宅着工件数共に順調に推移。一部電材・照明器具等が供給遅延が発生しており、工期に影響を与えている。特に、蛍光灯の製造中止を来年春に控え、取替需要が多く一部に納期未定が発生している。
運輸業	道路貨物運送	→	→	→	→	→	→	→	・特になし。
	道路貨物運送	→	→	→	→	→	→	→	・物量は前年同月比100.9%と前年並み。 ・燃料価格は前年同月比＋5.0円/Lと高めだった。

